



第8号

令和元年12月23日発行
宮城県東部地方振興事務所

いしのまき地域だより

第1回ふれあいコンサート in 石巻合庁を開催しました



演奏する石巻市民交響楽団の皆さん

宮城県石巻合同庁舎が地域に開かれた訪れやすく、身近なものと地域住民の方に感じてもらうと「ふれあいコンサート in 石巻合庁」を11月26日に合庁大会議室で開催しました。

記念すべき第1回目は石巻市民交響楽団の7名がアンサンブルで演奏を行い、「星に願いを」、「G線上のアリア」、「メヌエット」や「川の流れるように」、「青葉城恋歌」な

どなじみのある楽曲が披露されました。アンコールでは「あまちゃん」のテーマソングが披露され、定員を大きく上回る約160人が詰めかけた会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

また、コンサートに合わせて合庁1階ロビーで開催された「いしのまき地域収穫祭」では、水産加工品、しいたけ、季節の野菜などが販売され多くの方が買い求めたほか、だて正夢の試食やサンマのつみれ汁が振る舞われるなど賑わいを見せました。

今後も音楽を通じたコミュニケーションの場として石巻合庁が活用されるよう定期的にふれあいコンサートを開催していきますので、ぜひ合庁に足をお運びください。



いしのまき地域収穫祭の様子

特定家畜伝染病対策本部東部現地地方支部の防疫演習を開催しました



(机上演習の様子)



(現地初動防疫訓練の様子)

宮城県特定家畜伝染病対策本部東部現地地方支部では、鳥インフルエンザや豚コレラ等の発生に備え、関係者間の役割分担の確認と連携強化のため、11月1日（金）に防疫演習を実施しました。

演習は、管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したと想定し、異常鶏の通報から防疫措置開始までの一連の流れを確認する机上演習と石巻合同庁舎大会議室に支援センター（殺処分を行う職員が集合する施設）を設営する訓練や合庁駐車場を農場に見立て、鳥の殺処分などを行う現地初動防疫演習を実施しました。

机上演習では、東部地方振興事務所、保健福祉事務所などで構成する東部現地地方支部構成員のほか、石巻市、管内の警察署、建設業協会などが参加し、各関係機関への情報伝達や殺処分が開始されるまでの時間経過を意識しながら計3回の会議を開催、初動対応における準備、役割分担などを確認し、有事の際の円滑な連携について認識を深めました。

現地初動防疫演習では、殺処分を行う職員は防護服を着用、模擬鶏を捕獲しケースに入れ、ガスを噴射し袋に入れるまでの殺処分作業を行いました。また、防護服着脱をサポートする職員や車両消毒作業を行う職員もそれぞれの手順を確認しました。さらに、建設業協会員を対象に埋却作業の流れや内容を改めて確認する埋却研修も実施しました。

高病原性鳥インフルエンザは、全国的に11月以降の冬季に発生するケースが多く、また、豚コレラが関東まで拡大している中で今回の演習は、関係機関の連携を強化する上で、大変意義のあるものとなりました。

国の指針では、鳥インフルエンザを含む特定家畜伝染病の発生時には、ウイルスのまん延防止のため、確定から埋却作業の完了まで原則として72時間以内に行うこととされているため、今回の演習を有事の際の迅速な対応に活かしてまいります。

「結の場」 in 石巻広域圏を開催しました



被災地事業者による経営課題等の説明



支援提案企業と被災地企業とのワークショップ

被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決に向け、大手企業等の支援提案企業が、技術、情報、販路など、自らの経営資源を幅広く提供し、そこから更に、支援提案企業と被災地企業との新たな事業連携へ繋げることを目的とした「地域復興マッチング『結の場』 in 石巻広域圏」を、復興庁と当事務所の共催により10月23日（水）に石巻グランドホテルで開催しました。

平成24年度から始まり今回で26回目の開催となる「結の場」では、被災地企業として石巻地域の11企業・団体に対し、支援提案企業として全国の手続き企業37社に参加いただきました。

当日は初めに被災地企業から事業概要等について発表が行われ、その後、被災地企業ごとのテーブルに複数の支援提案企業が入り替わり入る形式で、経営課題の解決に向けたワークショップを3回行いました。

今後は支援提案企業からの提案をもとに、被災地企業と支援企業とのマッチングを復興庁と商工団体が中心となって行い、具体的な支援が行われます。

■お問い合わせ 東部地方振興事務所 地方振興部 商工・振興第一班 電話番号 0225-95-1414

高収益野菜 アスパラガスの生産定着に向けて栽培セミナーを開催しました



真剣に栽培方法を学ぶ参加者

儲かる農業の実現に向けて、国内産需要が高く、野菜の中でも市場価格が高値で推移し、収益が見込めるアスパラガスの導入・定着を目的にアスパラガス栽培セミナーを11月7日に宮城県石巻合同庁舎大会議室で開催しました。栽培セミナーでは、通常、収穫まで3年かかる栽培方法に比べ定植後翌年で収穫できる「アスパラガス採りつきり栽培（明治大学とパイオニアエコサイエンス株式会社の共同開発の栽培方法）」について、明治大学の元木悟准教

授から栽培方法のポイント等の説明がありました。採りつきり栽培は、従来の栽培に比べ病気が少なく、低コスト・省力化が期待できる栽培方法として期待され、直売所出荷者やほ場整備地区の農業者約50名が熱心に受講しました。セミナー修了後、農業法人を含む農業者から栽培したいとの話もあり、アスパラガスの生産定着に向けて関係機関と連携協力のもと普及・支援していきます。

■お問い合わせ 東部地方振興事務所 農業振興部 地域農業班 電話番号 0225-95-7612

第59回仙台牛枝肉共進会 石巻市の(株)川村ファームが2年連続でチャンピオン賞を受賞



チャンピオン賞に輝いた(株)川村ファーム出品の枝肉

11月6日、仙台市中央卸売市場食肉市場にて、全国農業協同組合宮城県本部主催の農林水産祭参加「第59回仙台牛枝肉共進会」が開催されました。この共進会は仙台牛ブランドの知名度向上と生産者の改良意欲並びに肥育技術の向上を図る目的で毎年開催され、今年は県内の肉用牛生産者から去勢牛130頭、雌牛49頭の計179頭が出品されました。

去勢の部の最高位(チャンピオン賞)には石巻市の(株)川村ファームの川村大樹氏が出品した枝肉が、前回大会に引き続き2年連続で選ばれ、1kg当たり6,037円(税抜き)の値がつきました。受賞牛の血統は父「幸紀雄」、母の父「安福久」。審査委員からはロース芯面積が大きく、歩留に優れた枝肉。切開面は光沢があり、脂肪(サシ)の入りに優れ、均整の取れた和牛の貫禄十分な枝肉との講評がありました。(株)川村ファームでは、第56回大会でもチャンピオン賞を受賞しており、また11月1日に東京で開催された「全国肉用牛枝肉共進会」でも最優秀賞を獲得するなど非常に飼育技術の高い農場として知られています。

肉質等級	歩留等級(肉が取れる量)		
	A	B	C
5	A5 仙台牛	B5 仙台牛	C5 仙台黒毛和牛
4	A4 仙台黒毛和牛	B4 仙台黒毛和牛	C4
3	A3 仙台黒毛和牛	B3 仙台黒毛和牛	C3
2	A2	B2	C2
1	A1	B1	C1

仙台牛は、数あるブランドの中でもっとも厳しい基準となっている高級和牛です。

枝肉格付けのイメージ図

■お問い合わせ 東部地方振興事務所 畜産振興部 畜産振興班 電話番号 0225-95-1438

オリーブの収穫を行いました



オリーブの実(大きいもので約3cm程度)



収穫の様子

石巻市では、平成26年度からオリーブの実証栽培を行っています。

温暖で乾燥した地中海性気候での栽培が多いオリーブの栽培の「北限」は従来、関東地方と考えられてきました。しかし、石巻市のオリーブは従来の「北限」を覆しました。

現在、北上・河北・雄勝・牡鹿の4地区のほ場で栽培が行われています。このうち北上地区の原ほ場(はらほじょう)は、東北地方太平洋沖地震に伴う津波により被災した宅地跡地を換地により整序化し、植栽を行ったものです。

本年11月13日、清々しい秋晴れの日差しのなか、関係者や地域住民の方々と収穫を行いました。昨年は約84kgの収穫でしたが、今年は約100kgの収穫となり、収量が増加しました。

オリーブは石巻市の復興のシンボルとして、市の新たな特産品となるべく、着実なあゆみを進めています。

■お問い合わせ 東部地方振興事務所 農業農村整備部 農村振興班 電話番号 0225-95-1411 (内線 2631)

第40回全国豊かな海づくり大会関連「大会記念リレー放流」を行いました



児童によるホシガレイ稚魚放流



むすび丸と一緒に記念撮影

全国豊かな海づくり大会は、昭和56年の大分県での開催に始まり、以後毎年、全国持ち回りで開催されており、天皇皇后両陛下の御臨席が慣例となっている大会です。来年9月27日に宮城県石巻市で開催されることが決定しています。

大会開催の1年前から機運醸成及び水産資源の保護に関する教育活動の一環として、県内の海面や内水面において、児童によるホシガレイ・ヒラメ・ヤマメ等の「大会記念リレー放流」を実施しています。

石巻地域では、7月17日に石巻市立寄磯小学校（児童8名）、10月23日に石巻市立大原小学校（児童16名）においてホシガレイ稚魚の放流を行いました。

放流の際、児童の代表が放流バケツにメッセージを書き入れ、そのバケツを、聖火リレーの「聖火」のように大会開催までリレーしていくこととしています。

児童たちは、むすび丸から稚魚の入ったバケツを受け取ると「大きく育てね」と願いを込めて笑顔で海に放流していました。

■ お問い合わせ 東部地方振興事務所 水産漁港部 水産振興班 電話番号 0225-95-7914

台風19号による森林・林業における管内の被害状況について



石巻市河北成田「林道：成沢線」



東松島市矢本上沢目地区（山腹崩壊）

台風19号の影響により10月11日から13日にかけて降り続いた大雨は、本県の沿岸部を中心に甚大な被害をもたらしました。

管内でも、石巻市雄勝で367mm、女川町で357mm、石巻市桃生で242mmなど記録的な豪雨となり、各地で道路や住宅等の冠水・浸水被害が発生しました。

このうち森林・林業の被害状況は、路面洗掘や法面崩壊などの林道被害が72路線（492箇所）で発生し、被害額は約973百万円となっているほか、治山施設被害及び林地崩壊被害が11箇所が発生し、被害額は約188百万円となっています。

また、製材所や木材加工工場、特用林産施設など林産施設（6者）でも、浸水等により約64百万円の被害が発生しています。

県では、被災市町における林道施設災害復旧事業の災害査定や、被災施設におけるグループ補助金の活用などを支援し、被災した市町や事業者の復旧が迅速かつ円滑に進められるよう取り組んでまいります。

■ お問い合わせ 東部地方振興事務所 林業振興部 林業振興班 電話番号 0225-95-1436

1・2月のイベント情報



1月

1/1(水・祝)	石巻市	黄金山神社 初詣歳旦祭 (金華山黄金山神社境内)
	東松島市	奥松島遊覧船 初日の出クルーズ (奥松島遊覧船案内所)
1/1(水・祝)~ 2(木)	石巻市	マンガッタンお正月2020 (石ノ森萬画館)
1/11(土)~ 14(火)	東松島市	月浜えんずのわり (五十鈴神社ほか)
1/24(金)	石巻市	おめつき (石巻市雄勝町名振地区)

2月

2/16(日)	東松島市	東松島ダンスフェスティバル (東松島市コミュニティセンター)
2/16(日)	女川町	女川町民音楽祭 (女川町生涯学習センター)
2/23(日)	石巻市	ボンバールいしのみき (石巻市内各所)

みやぎ水産の日 1・2月のおすすめは《ノリ・ホタテガイ》



宮城県では全国で一番早く新ノリが出荷されます。特に12月から1月にかけて最初に摘まれたものは【冷凍一番】と呼ばれ味も香りも最高です。寒流(親潮)の影響を受け養殖されたノリは、歯触りが良く、光沢に優れ甘みをもった逸品です。



宮城県のホタテガイは、三陸の豊富なプランクトンを食べて育つため、ぷりぷりとして肉厚です。豊富な栄養素に加え、良質なたんぱく質が摂れる食材です。ホタテを入れたシチューなど、この時期ならではの、美味しいホタテを堪能してください。



石巻・東松島・女川地域のイベント情報について詳しくはこちらをチェック!

問合せ先

東部地方振興事務所 地方振興部ブログ 石巻&東松島&女川復興情報"石巻地域 Again"  http://blog.goo.ne.jp/et-sinbk2	宮城県広報課 Facebook 宮城魅力ハンター  https://www.facebook.com/pg/pref.miyagi/posts/
---	---

宮城県東部地方振興事務所 地方振興部

TEL 0225-95-1767 FAX 0225-95-1471
 E-mail et-sinbk2@pref.miyagi.lg.jp
 HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/11.html>



東部地方振興事務所 HP